

## センター

# 「治療と就労の両立支援」のご紹介

## 治療就労両立支援センター

全国の労災病院グループを運営する「独立行政法人労働者健康安全機構」では、平成26年4月から、がん、糖尿病、脳卒中の罹患者及びメンタルヘルス不調者に対して、休業等からの職場復帰や治療と仕事の両立を支援する取組を行っております。

当院においても、「治療就労両立支援センター」において積極的に患者さんの支援を行っており、特に糖尿病分野では中核施設として活発に展開しているところです。

糖尿病に関しては、日本人男性の約6人に1人、女性では10人に1人が糖尿病、あるいは糖尿病が強く疑われる状態といわれています。当院の糖尿病センターでも1日に約110人の患者さんが通院されています。

糖尿病に罹患すると、長期にわたる生活習慣の改善や治療が必要となることから、とりわけ勤労者にとって糖尿病とうまく付き合いながら、仕事を継続していくことが大変重要となります。

このようなことを踏まえ、当院では働いている患者さんが治療を続けながら安心して働

くことができる職場環境作りの支援を行っています。

また、平成28年度から院内（よろず相談室）に治療と職業生活の両立支援に関する相談窓口を開設して、メディカルソーシャルワーカー（両立支援コーディネーター）が、がんやその他の病気を抱えた全ての患者さん（勤労者）が仕事を辞めずに治療を継続できるよう支援を行っています。例えば「治療内容を聞いて、働き続けられるか分からない?」、「治療を受けながら働き続けるか不安だ」、「元の職場に戻る場合、同じように働けるか不安だ」、「上司、同僚の理解が得られるか不安だ」等の悩みや不安をもっている患者さんを支援します。その他、当院の患者さんだけでなく、他院で治療を受けている方や、事業場の人事担当者、産業保健スタッフの方からのご相談にも応じております。事業場として、「従業員が治療を続けながら安心して働くことができる職場環境を作りたい」と考えている方も是非ご相談ください。

